

令和元年度三重県沿岸種資源評価

イセエビ



資源水準・動向

高位・横ばい

生物情報

- 産卵期は5～7月で、産卵場は親エビが分布する岩礁域、浮遊生活は約1年間。
- 満2歳で頭胸甲長42～45mm(約70～80g)、満3歳で56～62mm(約160～210g)、満4歳で65～74mm(約240～350g)になる。
- 肉食性で、小型の甲殻類や貝類等を餌にして成長する。

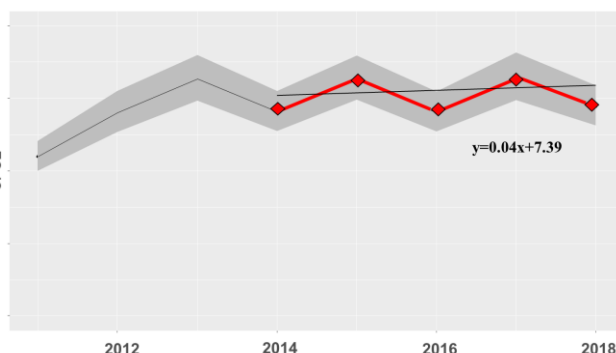
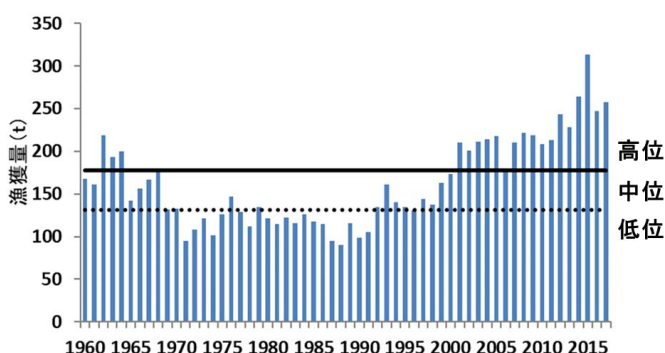
漁業の特徴

- 漁獲のほとんどが伊勢湾口から熊野灘海域で、刺し網で漁獲される。
- 漁期は10月1日～4月30日(鳥羽市離島地域以北の海域では9月16日～4月30日)。
- 漁獲主体は着底後2年が経過した個体。
- 市町別漁獲量では志摩市が最も多く、県内漁獲量の42%を占める(2017年)。
- 銘柄別(小、中、特大等)に分けられて水揚げされる。



資源状態

- 漁業・養殖業生産統計年報による三重県漁獲量の推移から資源水準は「高位」とした。
- 三重外湾漁協の志摩市のA地区の刺し網のCPUE(※)から動向は「横ばい」とした。



※銘柄別(中)の10月漁獲量に水温と月齢データを加えて解析した標準化CPUE(右図)

資源管理の取組

- 刺し網の漁期制限(10月～4月)および制限頭胸甲長42mm以下(公的規制)

将来考えられる資源管理の取組

- 制限頭胸甲長の引き上げ
- 操業漁場の制限
- 共同操業の推進